

第3次成田市環境基本計画 2018(平成30)年度 年次総括

各重点プロジェクトの進捗状況一覧

	項目	現状 2016(平成28)年度	推進目標・指標等 2027(R9)年度	推進目標・指標等の状況 2018(H30)年度
重点プロジェクトⅠ 生き物・里地里山の ふれあいづくり	継続的・定期的な動植物生息調査の実施及び情報の提供	第3次調査(市民調査含む) ※2014～2015(H26～27)年度実施	第4次調査 (2024～2025(R6～7)年度予定)	実施なし
	自然環境情報の発信	市ホームページで調査結果を公表 「なりたの自然環境」	調査結果の情報発信 自然学習教材の提供	市ホームページに調査結果を掲載 イベント時に自然学習教材を提供
	生き物・里地里山の ふれあい拠点の選定	未選定・未指定	ふれあい拠点の募集・選定の実施 1拠点以上選定・活用	ふれあい拠点の選定 0件 坂田ヶ池総合公園及び市民の森について自然とのふれあいが楽しめるよう園路等の修繕を実施
重点プロジェクトⅡ エコライフによる 低炭素なまちづくり	エネルギー起源の 温室効果ガス(CO2)排出量	基準年:2013(H25)年度 2,049千t-CO2	2030(R12)年度 1,730千t-CO2 基準年度比 約16%の削減	2015年度 1,979千t-CO2 基準年度比-3.4%
	小・中学校太陽光発電整備率	20.0%	71.0%	32.4% 達成率45.6%
	成田市地球環境保全協定への 参加事業所数	161事業所	300事業所	179事業所 達成率59.7%
	成田市環境保全率先実行計画 によるCO2排出削減	60.03千t-CO2	2020(R2)年度 56.03千t-CO2	49.47千t-CO2 達成率113.3%

第3次成田市環境基本計画 2018(平成30)年度 年次総括

重点プロジェクトⅢ 3Rによる循環型 まちづくり	ごみの総排出量	53,271t	47,300t	52,537t 達成率90%
	1人1日当たりのごみの排出量	1,104g/人日	938g/人日	1,079g/人日 達成率87%
	ごみのリサイクル率	12.3%	28%	17.1% 達成率61%
重点プロジェクトⅣ 環境交流の まちづくり	なりた環境ネットワーク 加入団体数	70団体	81団体	73団体 達成率90.1%
	環境会議等国際交流の推進	実施なし	関連する国際交流等と連携して 定期的に開催	連携事業について検討
推進事務局 取組の成果と評価 及び今後の課題・方 針について	市の重点的取組における、取組の成果と評価及び今後の課題・方針については別添「2018(平成30)年度 第3次成田市環境基本計画年次報告書」のとおり。			

第3次成田市環境基本計画 2018(平成30)年度 年次総括

<p>環境審議会 質問及び意見に対する回答</p>	<p>【委員からの主な質問・意見】 ①これまで、成田市では、急傾斜地崩壊の問題を抱えて来ているが、新たに加わった問題は、何かあるか。 ②フロンガスについての記載が体系図にない。庁内のフロンガスについての点検等についての記録管理のご確認はされているのか。 ③年次報告についてホームページに掲載してほしい。 ④重点プロジェクトⅠの生き物・里地里山のふれあい拠点の選定についての早期に実施してもらいたい。 ⑤特定外来種対策・有害鳥獣対策の推進についてイノシシの捕獲が増加に伴い、箱罠を増やしていただいたり、電気柵の事業補助金の申請をお願いしたい。また、「戦う」から「共生」へという認識で環境保全、健康な森へ戻すための植林するなど方向を変えていったらどうか。</p>	<p>【事務局の回答】 ①最近の台風などによる想定を超える豪雨災害により、急傾斜地崩壊対策事業での整備要望は増加傾向であり、また、当該事業により整備を完了した箇所においては、施設自体の経年劣化も相まって修繕に対する要望も増加しております。また、準用河川整備事業においては、災害を踏まえた堤防等施設の改修や、適切な維持管理の重要性を認識する中で、両事業とも、人命に関わる災害対策であるという観点から、早期に取り組む必要があり、適切な整備計画の立案と事業費の確保は課題と考えております。 ②フロンガスの記載については、令和4年度に予定している環境基本計画中間見直しの中で検討してまいります。市役所内のエアコンについては、平成27年度にフロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律の施行に基づき、定期点検を実施し点検記録簿に記録しております。 ③環境基本計画と一般廃棄物処理基本計画の年次報告書については、目標達成状況の点検・確認を行いまして環境審議会での意見等踏まえ、ホームページなどを利用して公表してまいります。 ④生物多様性などを学習するために、なりた環境ネットワークが行っている自然観察会などを通じて、ふれあい拠点の候補地の検討を進めております。 ⑤特定外来種対策・有害鳥獣対策の推進については、環境部と農政課の共同で対応させていただいている事情がございます。ご提案などにつきましては担当課と協議したうえで、検討してまいります。</p>
<p>環境管理委員会 評価及び改善提案</p>	<p>各プロジェクトの取組において、推進目標・指標等の状況が未実施である項目や進捗が遅れている項目については、各担当課で連携を図り速やかに改善に取り組むこと。 具体的な改善提案については以下のとおり。 ・特定外来生物について、近年では気候の変化により動植物の生息状況も変化し、新たな特定外来生物の侵入が想定される。こうした状況の中で、駆除などの適切な対応を早期に実施することで、広まりを抑えることは可能であるため、今後も情報収集に努め、適切な対応を実施すること。 ・ふれあい拠点の選定について、引き続き地域の貴重な自然環境をより良好な状態で維持・保全しつつ、里地里山拠点として市民が自然とふれあえる場所の整備を行うとともに、市民の森については情報発信を行い、活用を図ること。また、大人の参加者だけでなく、子どもの参加者を増やすように努めること。 ・住宅用省エネルギー設備設置費補助について、新たな対象機器の追加についても検討するとともに、引き続き省エネルギー設備の導入促進を図ること。 ・ごみの減量について、広報や市のイベント等を利用した積極的な啓発活動に加え、分別が進んでいない雑がみ類やプラスチック製容器包装に関して、市民の分別に対する意識の醸成を図ること。分別ガイドブック・リサイクルの手引きを窓口や各支所・公民館等、及び出前講座等の説明会で配布することで、市民のごみに関する理解の促進に努めること。また、市民に対して、直接ごみの分別・処理等に関して周知・啓発することのできる出前講座は、市民の要望を受けての開催となるため、基本的に受け身の対応となっている。今後は関係課と協力し、出前講座の積極的な周知と活用を促進すること。 ・環境会議等の国際交流については、今後、他市の事例等を研究し、実施を検討すること。</p>	

第3次成田市環境基本計画 2018(平成30)年度 年次総括

環境管理統括者 評価及び改善提案

各プロジェクトの取組において、推進目標・指標等の状況が未実施である項目や進捗が遅れている項目については、各担当課で連携を図り速やかに改善に取り組むこと。

具体的な改善提案については以下のとおり。

- ・特定外来生物について、近年では気候の変化により動植物の生息状況も変化し、新たな特定外来生物の侵入が想定される。こうした状況の中で、駆除などの適切な対応を早期に実施することで、広まりを抑えることは可能であるため、今後も情報収集に努め、適切な対応を実施すること。
- ・ふれあい拠点の選定について、引き続き地域の貴重な自然環境をより良好な状態で維持・保全しつつ、里地里山拠点として市民が自然とふれあえる場所の整備を行うとともに、市民の森については情報発信を行い、活用を図ること。また、大人の参加者だけではなく、子どもの参加者を増やすように努めること。
- ・住宅用省エネルギー設備設置費補助について、新たな対象機器の追加についても検討するとともに、引き続き省エネルギー設備の導入促進を図ること。
- ・ごみの減量について、広報や市のイベント等を利用した積極的な啓発活動に加え、分別が進んでいない雑がみ類やプラスチック製容器包装に関して、市民の分別に対する意識の醸成を図ること。分別ガイドブック・リサイクルの手引きを窓口や各支所・公民館等、及び出前講座等の説明会で配布することで、市民のごみに関する理解の促進に努めること。また、市民に対して、直接ごみの分別・処理等に関して周知・啓発することのできる出前講座は、市民の要望を受けての開催となるため、基本的に受け身の対応となっている。今後は関係課と協力し、出前講座の積極的な周知と活用を促進すること。
- ・環境会議等の国際交流については、今後、他市の事例等を研究し、実施を検討すること。